



寅さんの替え歌

吉屋令樹

寅さんの替え歌

寅さんの替え歌

かみさんとテレビで寅さんを見ていた。

何作目なのだろうか、マドンナは岸恵子、かつて小学校当時は痩せてほっそりした女の子だったという。

悪童寅次郎がひやかしの替え歌を歌ったという。

柱のきずは キリギリス

五月五日の キリギリス

ちまきたべたべ キリギリス

はかってくれた キリギリス

きのうくらべりゃ キリギリス

やっとはおりの キリギリス

せいくらべ の下の句を全部キリギリスに替えたのだ。

おれたちは浦島太郎をヘソノシタで歌ったよ。

むかしむかし ヘソノシタ

助けた亀に ヘソノシタ

龍宮城へ ヘソノシタ

絵にもかけない ヘソノシタ

乙姫様の ヘソノシタ

鯛やひらめの ヘソノシタ

ただ珍しく ヘソノシタ

月日のたつのも ヘソノシタ

遊びにあきて ヘソノシタ

おいとまごいも ヘソノシタ

帰る途中の ヘソノシタ

みやげにもらった ヘソノシタ

かみさんは口に手をあてて下品にならないように小さな声で笑った。

小学校ではなくもっと長じてからのことだったと白状したら間違いなく軽蔑されただろう。

寅さんの替え歌

<http://p.booklog.jp/book/88659>

著者：吉屋令樹

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/aurossi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/88659>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/88659>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ